世代間交流に
「音楽大使」派遣
諏訪ユネスコ協会

諏訪ユネスコ協会（矢崎靖雄会長）は世代間交流を目的に、音楽活動に取り組む子どもを「音楽大使」として任命し、地域の福祉施設に派遣して演奏してもらう新事業を立ち上げた。31日には最初の大使となった吹奏楽部所属の帯川奈々さん(14)＝茅野市北部中学校3年＝を同市玉川の介護サービス施設「桜ハウス玉川」に派遣。帯川さんはピアノやクラリネットを演奏し、利用者約30人を楽しませた。

帯川さんは、部活動で担当するクラリネットを演奏しながら楽器の特徴を紹介。続いてクラシック音楽や映画の主題歌など3曲のピアノ演奏を披露した。利用者は「とても上手な演奏」「アンコールを」などと伝え、拍手を送っていた。最後に帯川さんの伴奏で童謡「海」を歌い、音楽を通じた世代間交流を楽しんでいた。

演奏を終えた帯川さんは「緊張したけど楽しく演奏することができた。音楽大使として活動できて良かった」と振り返っていた。（野村知秀）

桜ハウス玉川の利用者の前でクラリネットを演奏する帯川奈々さん